



真保家の田んぼ 田植えから半月たちました



植え終わった田んぼを見て回る夏川さん

二十四節気 **小 満** しょうまんー 暖かくなり植物がよく育つ頃
万物の成長する気が天地に満ち始めること

当社近くの田んぼも7割程田植えが終わりました。
大規模生産者の方の終盤戦の田植えと、大豆を作付けする田んぼが
残っている程度です。

5月17日、18日は全国的にも暑かったですね。

特に18日の木曜日は、新潟も真夏日でした。

日中、田んぼで作業している人は、ほとんど見かけませんでした。

5月に30℃を超える日は、記憶にないように感じます。

◎◎ 今年も美味しいお米を！ ◎◎

私のお客の個人の農家さんも、ほとんどの方が5月の10日頃までには田植えが
終了しました。

先日、新潟市南区の生産者の夏川さんのところへ伺うと、自宅裏の田んぼの
水回りをされていました。

伺ったこの日も気温が27℃程まで上がった暑い日でした。
田植えが終わったばかりにこんなに暑い日は経験した
ことが無いかもしれないと言っていました。

天気予報を見ると、30℃まで上がったり、翌日はすぐに
10℃気温が下がったり、稲の生育に影響はないの
だろうかと少し心配されていました。



今時点で、このような**異常気象**が起きているから、今年の夏もきつと注意しなければならないと夏川さん。

天候や稲の様子をよく観察し、その時に必要な資材は使って、今年も**美味い米**が獲れるように頑張りますわと言ってくださいました。

夏川さんは今年から、**田んぼの作付面積をグンと増やしました**。

当社の**コシヒカリコンテストの入賞回数もトップ**です。

今年こそ**優勝**できるようにと、張り切って話してくれました。



当地の田植え風景

先日、**4歳の長男**と実家の近くを散歩していました。

私の実家も当社がある**新潟市南区**にあり、**果樹栽培が盛んな地域**です。

果樹畑の脇を通ると、「パパ、これは**桃の木**でしょう？」「こっちは**梨の木**！」と木を指さして話してきました。

息子が言う通り、それぞれ木は当たっており、いつだったか前に教えたことがあったかな？と思いながら、散歩をしていました。

ふと、近くにあった**桃の木**を見てみると、枝の先にはたくさんの実がついていました。

「いっぱい実がついているけど、これから**大きくて良い実を選んで、小さかったり痛んだりしている実**は取るんだよ」と教えました。

「え～！いっぱい実が獲れば、たくさんたべられるのもったいない！」と、なんとも子供らしい可愛い考えで話していましたが、**実を減らすことで、根からの栄養を集中的に良い実に送ることができて、実が大きくなって美味しい桃が獲れるんだよ**と教えてあげました。

長男は、もうすぐ3か月になる弟をよく可愛がってくれていて、先日ふと見ると弟の体をトントンして寝かしつけてくれていました。



これから摘果する桃の実



我が家の子供たち